2月7日放送

誰でも楽しめる“カーリング”とは　～神奈川　開成町～

問い合わせ先

アナウンサー
吉田 浩

冬のウインタースポーツというと、カーリングがありますけれども、きょうお伝えするカーリング・・・じつは、氷の上ではなくて、会議机の上でやっているんです。

ウレタン製のマットの上に、ウエディングドレスで使うような、薄いシートを敷いているので、ツルツル滑るということなんです。

このテーブルの上でできるカーリング競技、その名も【カーレット】といいます。２０１１年に日本で生まれたもので、使われているストーンは、コンパクトなかわいらしい600g。大体ペットボトルと同じくらいの重さですので、高齢の方でも手軽に滑らせることができるということで、人気だそうなんです。

開成町では、このカーレットで町を盛り上げようと、きょうまさにこのあと大会が行われるということで、直前の練習場にお邪魔しています。

「みなさんおはようございます！！」

９歳から87歳まで、108人が参加して行われる大会なんですが、今投げようとしている方は、最高齢87歳の女性です。腕がいいんです！暖かい所でできるのが非常に楽しいとおっしゃっていました。

隣の台では、おじいちゃんと小学生のお孫さんたちとのペアー。

このように、幅広い年代で楽しめる『カーレット』。ルールは簡単で、1チーム3人で、的の中心をめがけて滑らせ、残ったストーンの得点を競うというのは、カーリングとほぼ同じですが、ちょっと違う部分があります。

カーリングですとスイープするブラシがありますが、あのブラシは無くて、その代わりといってはなんですが、両側にある壁に、ストーンをぶつけて方向を決めることができる、いわゆる、ビリヤードの性質を利用するという点が違います。

きょうは、実際のカーレットの競技をお見せしたいと思います。

ちょっと変身させていただきますね。

『吉田ヒロシーニョ』となって、ヒロシーニョの実況でお届けしたいと思います。

カーレットジャパン協会 副理事の、中野実さんにもお越しいただきました。よろしくお願いいたします。

さぁ中野さん、今日お届けするチームをまずご紹介しましょう！

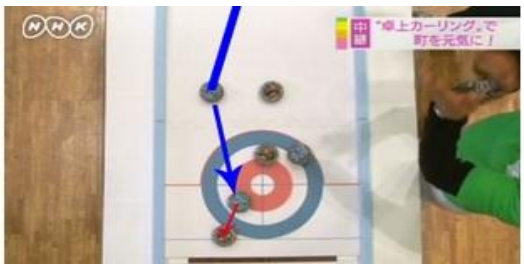
まずは、小学5年生の男の子のチームです！

「イエーーーーーイ！！」

そして対するは、全国優勝の経験もあるお母さんチーム！

「うわ～～～～～～！！」

赤が子供たち、そして青がお母さんたちのストーンです。中野さん、今の状況を見ていかがですか？

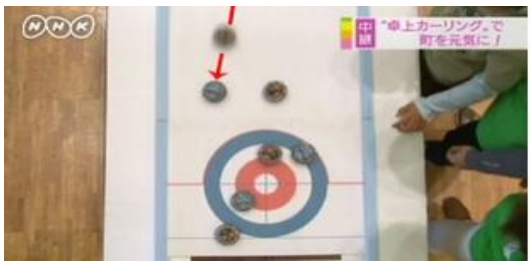


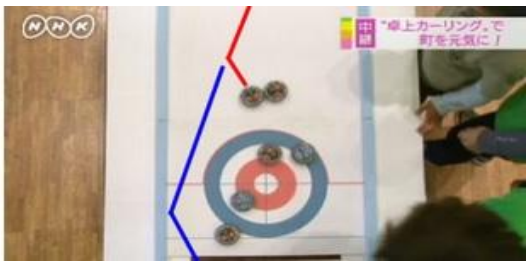
「真ん中、赤が縦に2つ並んでいますので、青チームとしては、あの赤をヒットアウトするか、あるいは横から自分たちの・・・」

お母さんたちがいきました！ 自分たちのストーンにあてて青が中に入りました！！

そして対する子供たちです。子供たちはどこを狙いましょう？

「多分、右側の青が少しガードになっていますから、あれを弾くか、真ん中からいくか」



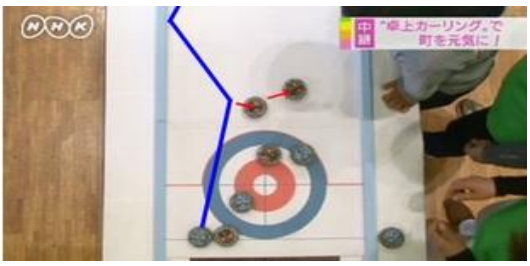


その青を弾いた！！うまいこと弾きました。そして、いま投げた赤のストーンが、ガードになりました。

お母さんたちは、今度はどこを狙いますか？

「端っこに当てて、中に入れていきます」

中に入れてくるということですが、見ていきましょう。

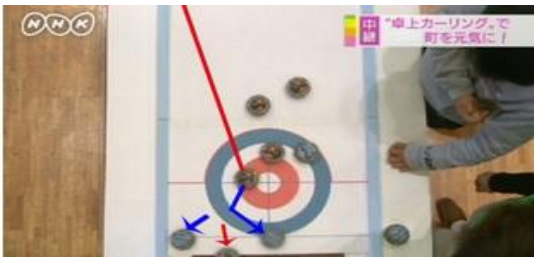


端っこに当てて中に入れていきましたが、弾かれてしましました！

子供チームの最後は和田くん。エースです。

「真ん中の辺りにある、奥の方の青を出したいと思います」

さぁ、その青を出せるかどうか？

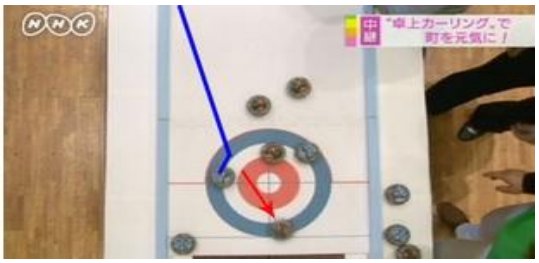


行きましたー！！！

続いてお母さんチームもエースが出てきました。高島さん。

「クッションで、真ん中の赤を狙います！」

真ん中の赤を狙うということですが、青が投げられました！



行ったーーーー！！！！

大会前ではありますが、まだまだ盛り上がりの練習が続きます。

神奈川県の開成町から、中継でお伝えしました。

問い合わせ先

◇“カーレット”について
「NPO法人カーレットジャパン協会」
電　話：03－3835－3251
ＦＡＸ：03－3835－9395

◇開成町でのカーレットの取り組みについて
「カーレット神奈川西湘クラブ事務局」
電話：0465－82－4368（代表）